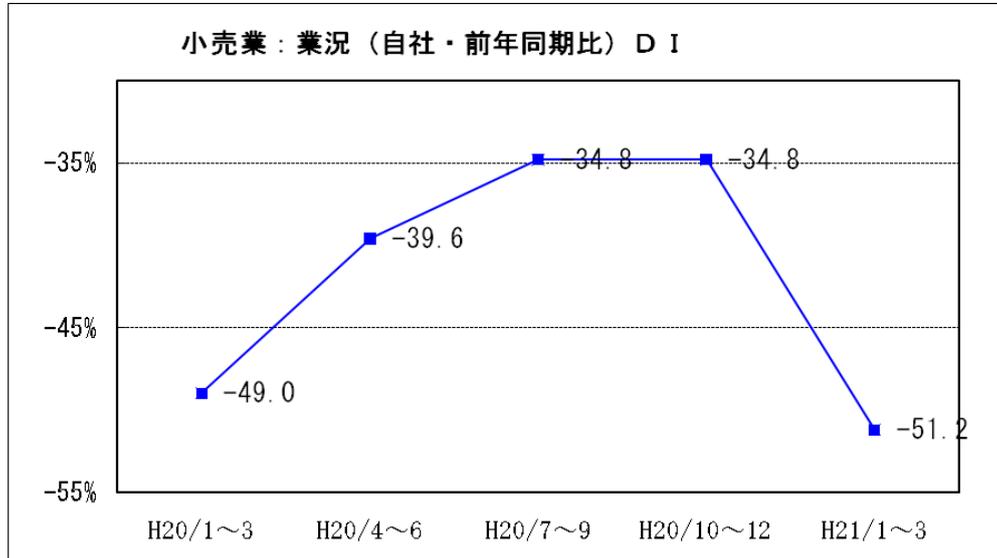


## 4. 小売業の動向

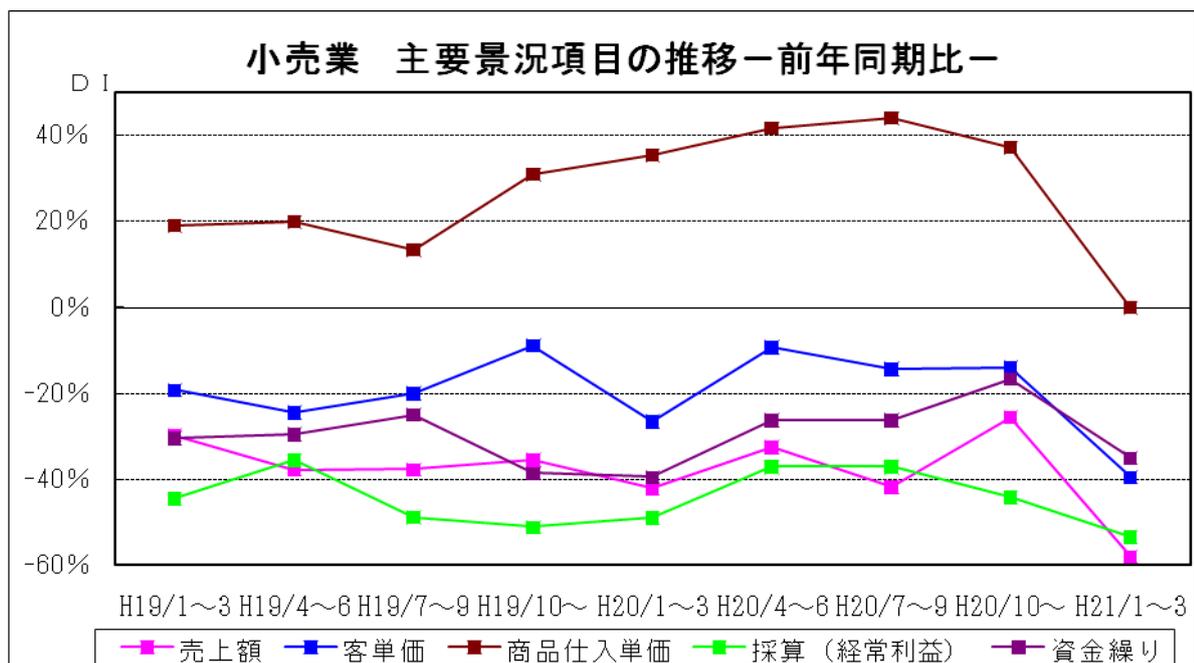
### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス51.2。前期のマイナス34.8から16.4ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス50.0とやや回復の見込み。



### 小売業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

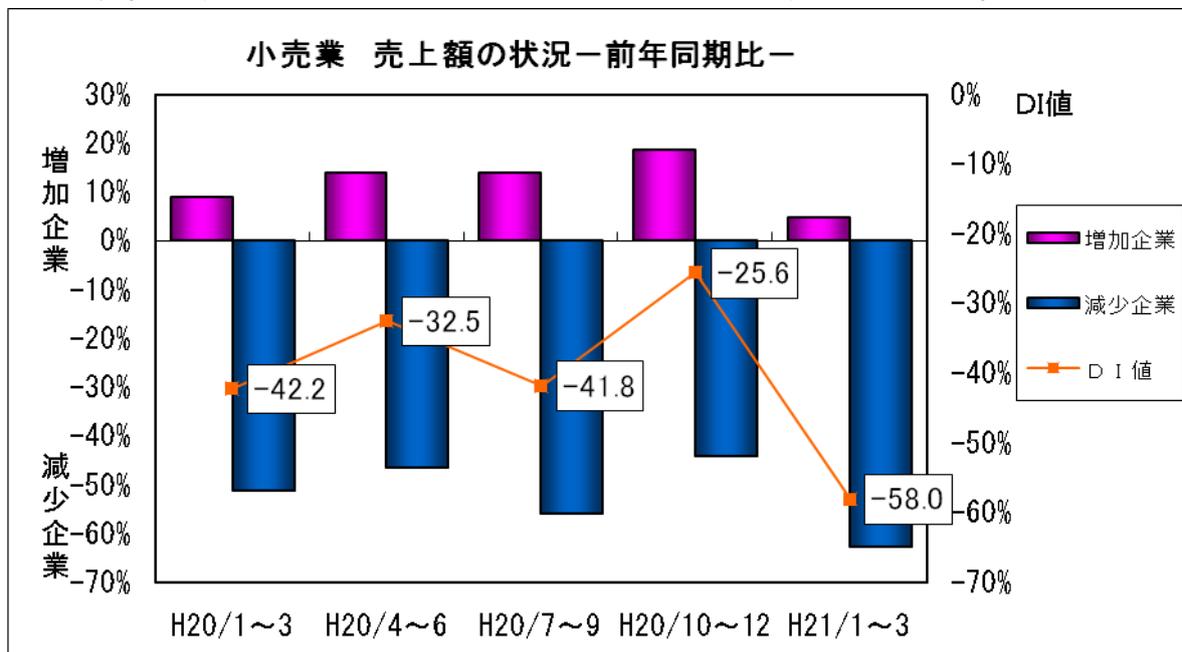
	前々期 (20年7月~9月)	前期(A) (20年10月~12月)	今期(B) (21年1月~3月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上額	▲41.8	▲25.6	▲58.0	▲32.4	▲46.5
客単価	▲14.3	▲14.0	▲39.5	▲25.5	▲37.2
商品仕入単価	44.1	37.2	0.0	▲37.2	0.0
採算（経常利益）	▲37.2	▲44.2	▲53.5	▲9.3	▲50.0
資金繰り	▲26.2	▲16.6	▲35.0	▲18.4	▲34.1



(2) 主要項目の概況 (前年同期比)

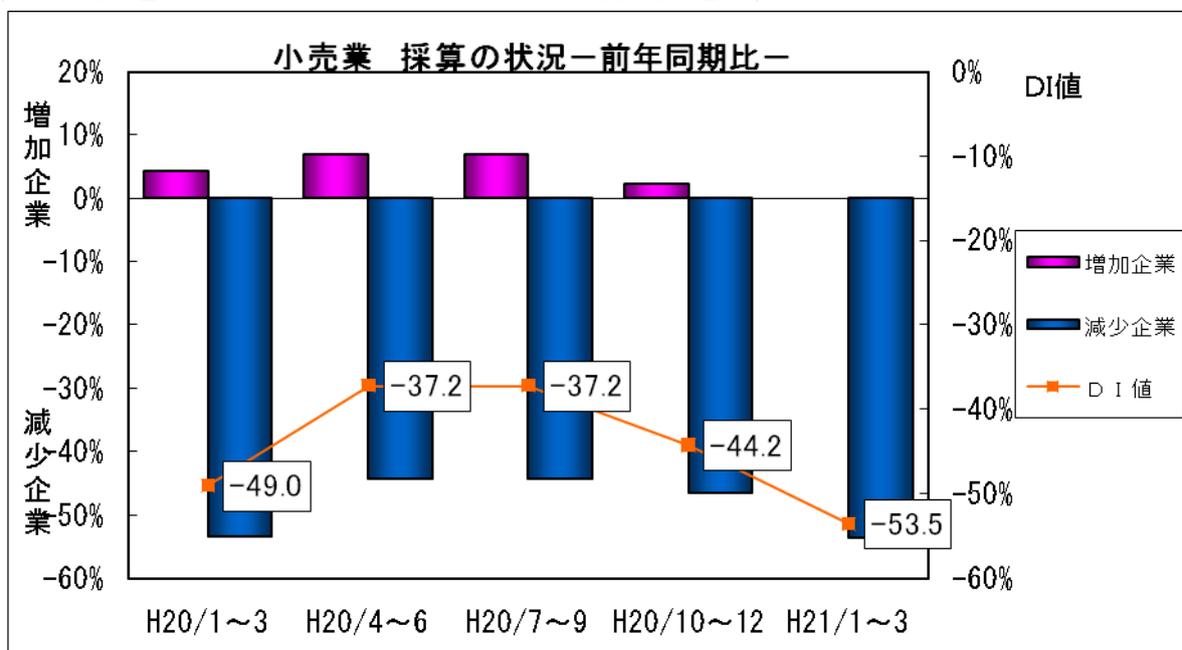
①売上額 (前年同期比)

今期の売上額D I 値は、マイナス 58.0。前期のマイナス 25.6 から 32.4 ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しはマイナス 46.5 と再び大幅に回復する見込み。



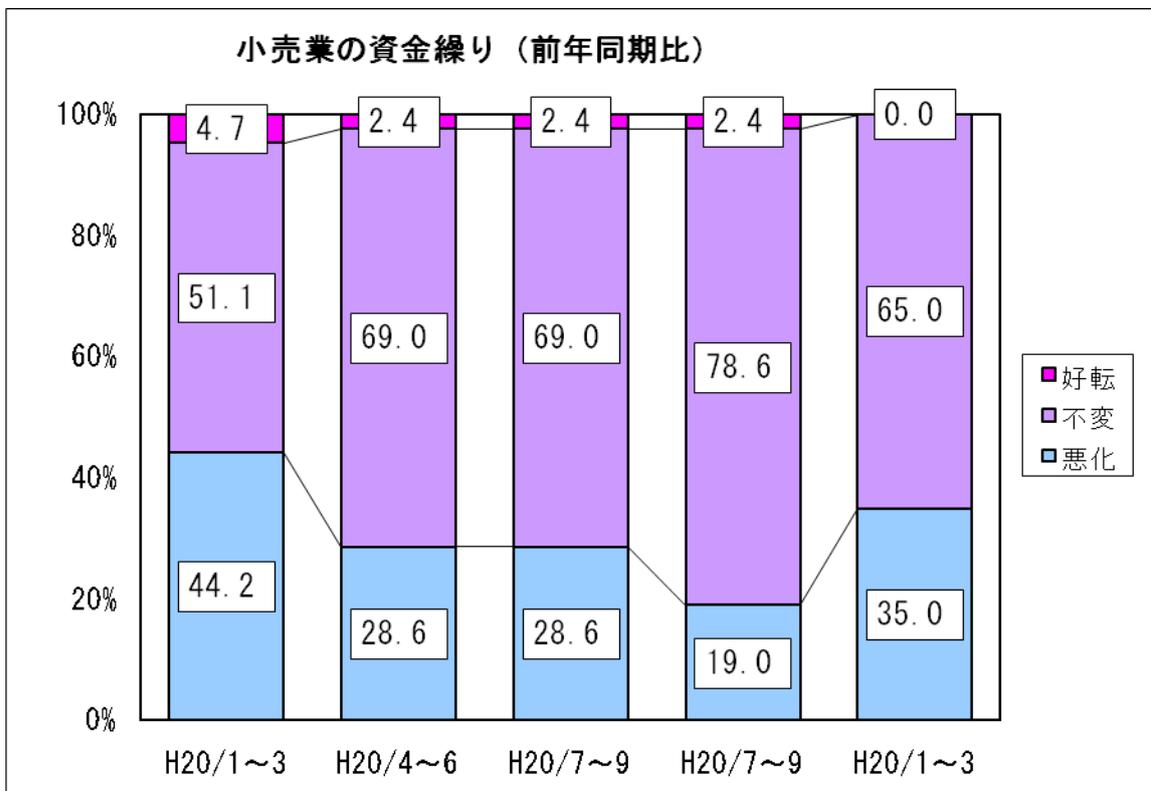
②採算 (前年同期比)

今期の採算D I 値は、マイナス 53.5。前期のマイナス 44.2 から 9.3 ポイント下降、悪化。来期見通しはマイナス 50.0 と小幅な回復の見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I 値は、マイナス 35.0。前期のマイナス 16.6 から 18.4 ポイント下降、大幅に悪化。来期見通しはマイナス 34.1 とやや回復の見込み。

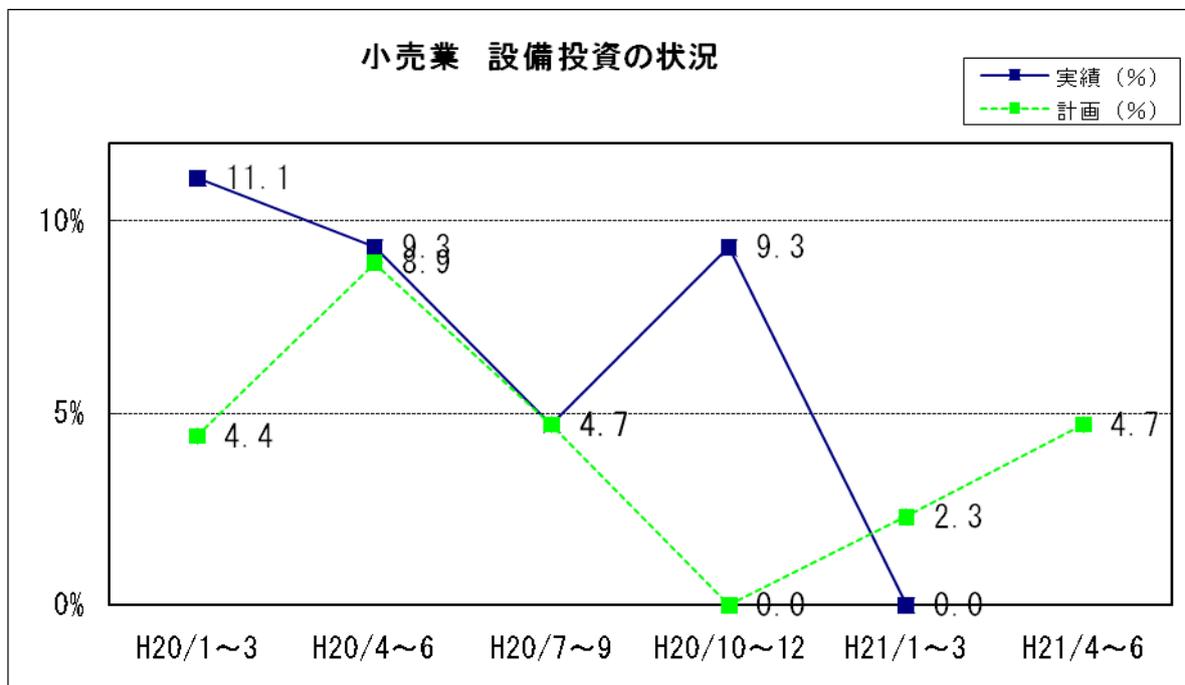


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土地	店舗	販売 設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その 他	
前期実施 (実数) (%)	4 9.3	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	39 90.7
今期実施 (実数) (%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	43 100.0
来期計画 (実数) (%)	2 4.7	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	41 95.3

今期設備投資を実施した企業は0社(0.0%)。前期(平成20年10~12月期)の実施企業4社(9.3%)より4社減少。来期は2社(4.7%)が、販売設備、OA機器への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、小売業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・「需要の停滞」 (前期 50%→今期 60%)
- ・「購買力の他地域への流出」 (前期 55%→今期 48%)
- ・「販売単価の低下、上昇難」 (前期 24%→今期 29%)
- ・「人件費以外の経費の増加」 (前期 26%→今期 26%)

となっている。

